決勝リーグ戦評

7/27@堺市原池公園体育館

第 1 試合

女子

74	21	-	10	**56**
	21	-	9	
	19	-	17	
大阪薫英	13	-	20	豊中六

薫英④⑥⑦⑧⑩、豊中六⑤⑥⑩⑪⑬、両チームマンツーマンオフェンスでスタート。薫英は最初のオフェンスをセットプレーで成功させると堅いディフェンスでスティールから得点し、その後も⑥⑧の高さを活かし得点を重ねる。対する豊中六は⑤のスティールからの速攻で得点するが、薫英のかたいディフェンスに攻めあぐねる。タイムアウトを取りながら何とか立て直しを図るものの、流れは変わらず、42-19 と薫英の大量リードで前半を終える。

後半に入ると豊中六は、ディフェンスのオールコート 1-2-1-1 ゾーンプレスを仕掛け、薫英のミスを誘い得点を重ねる。ハーフコートでも⑤を中心としたプレーでリズムを取り戻す。一方薫英はボール運びでのミスが目立つが、トランジションの速さで得点する。4Q で薫英はメンバー全員を入れ替え、盤石の試合運びで勝利した。

女子

66	16	-	3	**34**
	11	-	9	
	19	-	17	
取石	20	-	5	誉田

取石④⑤⑦⑧⑨、誉田④⑤⑥⑦⑧、1Q、取石はハーフコートマンツー、誉田はハーフの 2-1-2 でスタート。取石は、⑤のシュートを皮切りに、外角のシュートがよく決まる。誉田はリング下まで入り込むがシュートを決め切れず、16-3 で終了。2Q、取石は厳しいディフェンスやハイロー中心のスペーシングの動きで効果的に得点を重ねる。誉田も必死に応戦するが、⑥の 4 回目のファウルなど、なかなかリズムにのれず、前半を 27-12 で終了。

3Q、誉田は⑥の 1 対 1、⑦のゴール下シュートで本来の動きを取り戻し、得点を重ねる。それに対し取石は外角シュートを決め、相手の流れにもっていかせない一進一退の攻防を繰り広げ、46-29 で終了。4Q に入り、取石は自分達のバスケットをし続けるのに対し、誉田は足が止まり、さらに点差が広がり、66-34 で試合終了。

初戦の重たい雰囲気の中で、しっかりと自分達のバスケットをした取石が勝利をものにした。

決勝リーグ戦評

7/27@堺市原池公園体育館

第 2 試合

男子

40	8 - 7		**26**
	7 - 8		
	11 - 5		
和泉	14 - 6		南池田

和泉④⑤⑥⑦⑧、南池田④⑤⑥⑦⑪でスタート。和泉⑤⑦に対しトライアングル 2、南池田はハーフマンツーでスタート。南池田⑪のミドルシュートで先制。和泉は 1 on 1 を中心に組み立て、⑥のドライブや、ドライブからの合わせで対抗する。和泉はシュートが入ってからの 2-2-1 ゾーンプレスから 1-1-3 ゾーンで南池田を揺さぶる。南池田はインサイドへの寄りを速くしてゴール下を固める。一進一退の攻防で 1Q 終了。2Q に入り、南池田は④のハイポストを起点にトライアングルゾーンを上手く攻め、⑪へのアシスト、ミドルシュートを成功させる。これにより和泉はディフェンスをマンツーマンにチェンジ。お互い我慢の展開の中、和泉は④⑤⑥が得点をつなぐ。終盤 3 分ノーゴールが続き、15-15 で前半を終了する。

3Q も両チーム無得点が続く中、和泉⑤が 3 連続ゴールで均衡を破る。南池田も⑪の 3P でくらいつくがディフェンスを崩せず、単調な攻めとなってしまう。終盤に⑥の 3P が決まり、和泉がリードを 6 点に拡げ、3Q 終了。4Q、南池田は前からのプレッシャーを強めるが、和泉は⑤のドライブやゴール下で得点を重ね、南池田はたまらずタイムアウト。その後、1-2-1-1 のゾーンプレスを仕掛けるが、和泉は⑤のゴール下や④のミドルシュートで逆に点差を拡げる。最後まで攻め続けた和泉が 40-26 で決勝リーグ 1 勝目を手にした。

男子

45	6 - 6		**36**
	12 - 8		
	15 - 6		
美木多	12 - 16		阿倍野

美木多④⑤⑥⑦⑧、阿倍野④⑤⑥⑦⑨、両チームともハーフマンツーマンでスタート。両チームとも硬さが見られ、なかなかシュートが決まらない。1Q を 6-6 で終了。2Q、美木多のディフェンスプレッシャーが強まり、④のリバウンドシュート、⑦の 1 対 1 からの合わせなどで得点を重ねる。阿倍野、たまらずタイムアウト。その後、阿倍野は⑤⑥の 1 対 1、カッティングからのプレーで持ち直す。しかし、美木多⑥の 1 対 1、④・⑦のコンビプレーで美木多が 4 点リードで前半を終える。

3Q、美木多④⑥⑦⑧⑪、阿倍野④⑤⑥⑦⑨でスタート。両チームともディフェンスをオールコートに変え、プレッシャーを強める。しかし、美木多は⑦④のコンビプレーで点差を拡げる。25-16 となり、阿倍野がタイムアウト。その後、一進一退の状況が続くが、33-20 とさらに美木多が点差を拡げ 3Q 終了。4Q、出だしに阿倍野④⑦の連続 3P で流れをつかみかけるも、白⑦の 1 on 1 と冷静なゲーム運びで再び美木多のペースに。阿倍野、タイムアウトを取るが流れは変わらず、45-36 で美木多がリーグ戦の貴重な 1 勝を手にした。

決勝リーグ戦評

7/29@堺市美原体育館

第 1 試合

女子

75	24	-	9
	17	-	11
	18	-	6
大阪薫英	16	-	13

39

誉田

薫英④⑥⑦⑧⑩、誉田④⑤⑥⑦⑧でスタート。薫英は力強い⑥のリバウンドシュートで先制。すぐに誉田⑥が入れ返す。薫英は 2-2-1 のゾーンプレスからハーフマンツー、誉田はハーフマンツーマンディフェンス。薫英は徹底して⑧⑥のハイローで決める。また薫英④のディフェンスもさえ、誉田は外のシュートを狙うも入らない。14-2 となったところで誉田がタイムアウト。その後、誉田⑤の 3P が決まり流れを引き戻そうとするも、薫英は 1-4 からの多彩なオフェンスで得点を重ね、1Q を 24-9 で終了する。2Q、薫英⑦⑪⑫⑰⑱、誉田④⑤⑥⑦⑧、お互いマンツーで始まる。薫英が先手を取るが、誉田⑤のドライブ、⑥の 3P・1 対 1 で追い上げる。しかし、そこから薫英のチームディフェンスが冴えて誉田は思うようにシュートを打てず、薫英は交代メンバーも 1 対 1 を仕掛けて得点を重ね、41-20 と薫英リードで前半を終了する。

後半、薫英④⑥⑦⑧⑩、誉田④⑤⑥⑦⑧でスタート。誉田はハーフの 2-1-2 ディフェンスに変える。薫英は対応できずミスが続いていたが、④の 1 対 1 を皮切りに⑥のリバウンドシュートで加点していく。一方、誉田は薫英のマンツーマンを崩すことができず、59-26 で 3Q を終える。4Q、薫英はメンバーを入れ替えるが、勢いは変わらぬまま着実に加点していく。誉田も⑤の 3P、⑥の 1 対 1 で応戦するが、点差は縮まらず、75-39 で薫英が勝利し、近畿大会出場に大きく近づいた。

女子

43	9	-	9
	15	-	16
	14	-	13
豊中六	5	-	21

59

取石

スタート豊中六⑤⑥⑩⑪⑬、取石④⑤⑦⑧⑨。豊中六はハーフマンツー、取石は 2-2-1 からマンツーマンディフェンスでスタートする。1Q、取石は⑤のレイアップで得点し、激しいディフェンスからローテーションを速め豊中六にイージーシュートを撃たせない。また④を中心にインサイドアウトからの攻めで加点する。豊中六は攻めあぐねるも、⑪の 1 対 1 からフリースローで加点していき、9-9 で終える。2Q、取石は激しいディフェンスからスティールを連発、リバウンドも積極的にとりゲームの流れを渡さない。⑤の連続得点や⑩の連続 3P で得点を重ねる。対する豊中六は激しいディフェンスの中、⑪を中心に 1 対 1 で得点し、24-25 で前半を終える。

3Q、豊中六⑤⑥⑩⑪⑬、取石④⑤⑦⑨⑪でスタート。出だしに豊中六⑥のゴール下シュートで逆転に成功、しかし取石は 3 連続 3P で点差を拡げる。豊中六はたまらずタイムアウト。その後、豊中六⑪の 1 対 1、⑬の連続 3P で追い上げ、38-38 で終了。4Q、疲れの見え始めた豊中六に対し、取石は前から激しくディフェンスし、ダブルチームからスティールを連発し、⑦④を中心に連続得点から一気に試合を決めた。終盤にきて取石の粘りが光る試合だった。

決勝リーグ戦評

7/29@堺市美原体育館

第 2 試合

男子

30	4	-	5	**38**
	8	-	11	
	9	-	13	
和泉	9	-	9	阿倍野

この試合に勝てば近畿大会出場に大きく近づく和泉は④⑤⑥⑦⑧でスタート、一方、負けが許されない状況で臨む阿倍野は④⑤⑥⑦⑨でスタート。和泉は阿倍野の⑥にフェイスガードをし、プレッシャーの効いたハーフコートマンツーマンと時折見せる 2-3 ゾーンで守る。それに対し阿倍野は、オーソドックスなハーフコートマンツーマンで守る。お互いのディフェンスが機能し、両チームとも攻め手を欠き、4-5 とロースコアで 1Q を終える。2Q、和泉は④⑤の 1 対 1 で阿倍野のディフェンスを崩そうと試みるが、点につながらない。それに対し阿倍野はフェイスガードされた⑥以外で攻めるが、こちらも点につながらない。両チームとも持ち前の脚力でディフェンスをし、大きく試合が動くこともなく、12-16 と阿倍野 4 点リードで前半を終了する。

3Q、和泉④⑤⑥⑦⑧、阿倍野④⑤⑥⑦⑨とスターティングメンバーと変わらず後半をスタート。和泉は前半と同様、阿倍野の⑥に対しフェイスガードをしプレッシャーをかけるが、そのディフェンスを掻い潜り 3P シュートを決め、ゲームが動き出す。和泉は④⑤の 1 対 1 で対抗するが点につながらず、阿倍野は立て続けに 3P を決め、21-29 で 3Q を終える。4Q、阿倍野は 3Q の勢いのままに脚力も衰えることなく、和泉の 1 対 1 を封じ込み、スティールからの巧みなパス回しによる速攻を決め加点していった。和泉は終盤、その流れを必死に引き戻そうとするが、点数は縮まることなく、30-38 で阿倍野が勝利した。両チームとも、脚力を活かしたディフェンスが光った素晴らしいゲームであった。

男子

38	12	-	4	**46**
	7	-	17	
	9	-	14	
南池田	10	-	11	美木多

南池田④⑤⑥⑦⑮、美木多④⑤⑥⑦⑪でスタート。1Q、南池田はハーフマンツー、美木多は 1-1-3 のハーフゾーンで始まる。南池田がショートコーナーを上手く使い効果的に得点を挙げるのに対し、美木多は外角のシュートが決まらず、12-4 で終了する。2Q に入り、美木多はマンツーマンに切り替え本来のリズムを取り戻す。④のゴール下での得点を中心に一気に試合をひっくり返し、19-21 の美木多 2 点リードで前半を終了する。

後半は南池田④⑤⑥⑦⑬、美木多④⑤⑥⑦⑧、お互いハーフマンツーでスタートする。2Q に引き続き美木多はゴール下を中心に得点を重ね、徐々に点差を拡げていく。一方、南池田も⑤⑦を中心に得点を重ね、更にディフェンスを 2-3 ゾーンに変え、追い上げムードのまま 3Q を終了。この時点で 28-35、美木多 7 点リード。4Q、美木多は⑦が攻守ともに活躍し、点差をキープする。南池田は、⑦がジャンプシュートなど得点を重ね必死にくらいつくが、点差は縮まらず、38-46 で美木多が勝利を収める。ガードとインサイドに軸を置く美木多の安定したゲーム運びが光るゲームだった。

決勝リーグ戦評

7/29@堺市美原体育館

第 3 試合

女子

49	6	-	6	**62**
	14	-	24	
	19	-	21	
取石	10	-	11	大阪薫英

取石④⑤⑦⑨⑪、薫英④⑥⑦⑧⑩、両チームマンツーマンでスタート。高さで勝る薫英は、オフェンスリバウンドを支配するも、取石の激しいプレッシャーの前に決めきることができない。対する取石も、④の 1 対 1 や⑤⑦のドライブインなどで対抗するも、互いに決め手を欠き、6-6 で終了する。2Q が始まっても思うように得点できない取石に対し、薫英は⑧の 3 連続ポイントで引き離しにかかり、6-12 となったところで取石がタイムアウト。その後、⑦のドライブや⑤のミドルで加点するが、逆に薫英⑪⑰のスピードのある攻撃、⑥⑧のインサイドを抑えきれず、30-20 と薫英が点差を拡げて折り返す。

3Q に入ると一進一退の攻防が続く。薫英⑥⑧がゴール下を確実に決めれば、取石⑤がドライブインで取り返す。激しいやりあいが 3Q 終わりまで続き、51-39 と薫英がわずかにリードを拡げて 3Q を終了する。4Q に入っても取石は激しいディフェンスを続け、④⑤で得点するが、薫英⑥⑧のゴール下を決められ点差が縮まらない。残り 4 分 16 秒になったところで取石がタイムアウトを取るも、流れを変えることができない。その後、薫英は落ち着いて試合を運び、62-49 で優勝を決めた。

女子

48	13	-	23	**82**
	10	-	15	
	11	-	32	
誉田	14	-	12	豊中六

誉田④⑤⑥⑦⑧、豊中六⑤⑥⑩⑪⑬、両チームともマンツーマンでスタート。1Q、豊中六はサイズを活かしたポストプレー、オフェンスリバウンドでゲームの流れをつかむ。対する誉田も⑥のドライブで攻撃するが、なかなか差が縮まらない。誉田はディフェンスを 2-1-2 ゾーンに変えるが、豊中六のアウトサイドシュートがよく決まり、1Q を 13-23 で終える。2Q、誉田は⑥のドライブから連続得点し、さらに⑥のドライブからの合わせで⑭が 3P を決め、点差を詰める。誉田のタイムアウト後、さらに⑥が攻めるが得点にならず、豊中六がナイスカットから速攻を決めていき、23-38 で前半を終了する。

後半、誉田⑤⑥⑦⑧⑭、豊中六⑤⑥⑩⑪⑬でスタート。誉田はゾーンを続け点差を縮めようとするが、シュートが外れてしまう。豊中六はマンツーマンから速攻を連発。⑤のアシストから⑥⑪のインサイドが得点を重ねていく。少しずつ誉田の足が止まり始め、その間に点差が拡がってしまい、3Q を 34-70 で終了。4Q になっても流れは変わらず、誉田⑥が最後まで果敢に攻めるが点差は縮まらず、48-82 で試合を終了した。

決勝リーグ戦評

7/29@堺市美原体育館

第 4 試合

男子

56	8 - 6		**38**
	14 - 8		
	20 - 8		
美木多	14 - 16		和泉

美木多④⑤⑥⑦⑧、和泉④⑤⑥⑦⑧でスタート。両チームマンツーマンだが、和泉は美木多⑦をフェイスガードでリズムを崩しにかかる。美木多は④のドライブ、和泉は④⑤⑥の果敢な 1 対 1 で得点を狙いにいくが、両者硬さが見られ、思うように得点できず、ロースコアの展開になる。2Q になっても試合は大きく動かず、22-14 の美木多リードで前半を終了する。

後半は美木多④⑤⑥⑦⑧、和泉④⑤⑥⑧⑩でスタート。美木多④のポストプレイ、ドライブと、変幻自在のプレイで得点を重ね、主導権を握る。リズムに乗った美木多は、さらに相手のミスからの速攻などで加点していく。一方、和泉は力強いドライブを見せるもシュートが思うように決まらず、フラストレーションがたまる。4Q に入って、開き直りを見せた和泉がプレスを仕掛けて追いすがるも、終始④⑦を中心に落ち着いてゲームコントロールをした美木多に追いつけず、ゲーム終了。美木多中学校がこの年の大阪を制した。

1 勝 2 敗で並んだ 3 チームのうち、ゴールアベレージで上回った和泉中学校も準優勝で近畿大会への切符を手にした。両校の近畿での活躍を期待したい。

男子

59	12 - 14		**66**
	16 - 10		
	15 - 21		
阿倍野	16 - 21		南池田

阿倍野④⑤⑥⑦⑨、南池田④⑤⑥⑦⑪、お互いハーフコートマンツーマンでスタート。ゲームの序盤は、阿倍野⑥、南池田⑦のシュートが確率よく決まり、6-8 までは 2 人の対決となる。その後も両チームのミドルシュート、ゴール下が高確率で決まり、1Q は 12-14 と南池田のリードで終える。2Q 最初のゴールも、南池田⑦の速攻からの 1 対 1 で始まる。南池田は④⑦の 1 対 1 のシュートを中心にゲームを組み立てる。阿倍野は南池田⑦にフェイスガードするが、⑦の得点は止まらない。阿倍野は④⑥の 3P で応戦し、一進一退の攻防が続く。残り 1 分、南池田がゾーンディフェンスに変えたところでまたも阿倍野⑥の 3P が決まり、前半 28-24 の阿倍野 4 点リードで折り返す。

後半、阿倍野④⑤⑥⑦⑪、南池田④⑤⑥⑦⑨、南池田のペースでスタート。南池田が序盤リードするが、阿倍野⑥のミドルシュート、3P で逆転する。南池田はたまらずタイムアウト。その後、南池田はオールコートに切り替え、立て続けにスティールし、3Q を 43-45 の 2 点リードで終える。1・2Q は南池田⑦のシュートが目立ったが、4Q は④⑬のハイローが決まりだし、徐々に点差が開きだす。残り 1 分 28 秒、52-58 となったところで阿倍野がタイムアウト。オールコートでプレッシャーをかけるが、南池田が落ち着いてボールを運び、⑤のドライブシュートで 52-60 と点差を拡げる。残り 56 秒で阿倍野が再びタイムアウト。ファウルゲームに行くが、南池田がフリースローを確実に決め、59-66 で南池田が勝利した。